

名前：

インターネットでもたらした生活上での便利さのため、人々はとかくインターネットに頼りになりがちで、くりくりするだけで世界をいし宇宙を手に入れるようになり、てきた。このように色々な利点に基づいて、新聞や雑誌はこれから廃れていくと思う人がいるだろう。その人たちの思いに反して私はこれから新聞や雑誌が必要だと賛成する。

新聞や雑誌とい、た限りある情報を集めた紙類の媒体は毎日、毎月出版されて、インターネットからの情報より具体的な形で人々を読ませている。待ち合わせとか、電車に乗り時間とい、た一人で何もできなく待つしかない時間は、新聞や雑誌など形のあつ情報は無駄な待つ時間を便利にすてて、インターネットより持ち合わせやすい。形があるからこそ、読者はそれらを通じてニュースとかの情報のみならず、同時にデザインのあつ物さをも楽しめるだろう。そして、インターネットからもらえる情報は多量であつて人々は一度に完全に

読み終わらせなくて、友が友がポイントがつかぬまい。それに好して新聞や雑誌をど限りある形である物は、一部の人は、て重要さの高い情報を選ばれ、世の中の人に伝、ていものだ。インターネットほど多量の情報ではないが、かえ、て大切なことやポイントのあつことが集めてあつ。情報流通が迅速な現代社会に生きている人間にと、ては、やはり整、ている情報が適切だ。

ところで、インターネットの便利さのおかげで新聞であれ雑誌であれ取材されたことが速やかに整理できるようになり、情報の良し悪しを考えながら紙類媒体で出版している。インターネットがあればこそ、人為的に操作されて選択取捨された友どの扱、て一生懸命作られてき新聞や雑誌が必要である。人間はインターネットにより便宜をはか、た生活を送、ているというものの、インターネットに迷うべきではなく、情報そのものの本質を忘れてはならないのではないだろうか。

1800字